令和８年10月29日
第90回九都県市首脳会議

豪雨災害時等の
帰宅困難者対策について



東京都
TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT

帰宅困難者対策に関する取組の現状

＜ 九都県市での取組 ＞

首都直下地震を想定した取組を実施

- **災害時帰宅支援ステーション**への協定締結（28,166か所　R8.2月時点）
- ステーション運営事業者用ハンドブックの作成
- **一斉帰宅抑制**に関する啓発ポスターの作成・配布 等



啓発ポスター

＜ 都の取組 ＞

- **帰宅困難者対策訓練**

  平成23年度から毎年実施

- **帰宅困難者対策オペレーションシステム（通称：キタコンDX）**

  一時滞在施設の開設情報等を帰宅困難者へリアルタイムに提供

【 キタコンＤＸ 】



施設検索画面



ルート案内画面

激甚化・頻発化する風水害

全国各地でこれまでに経験したことがないような豪雨が発生



・ **令和８年８月の千葉豪雨、９月の台風第25号**では、記録的大雨により、**甚大な被害が発生**



アンダーパスの冠水



交通阻害車両の路肩への移動



路盤流出による鉄道の運休

※いずれも国土交通省資料から引用

・ ８月の千葉豪雨では、県内で**多くの帰宅困難者が発生、一時滞在施設が順次開設され、3,800人以上を受入れ**

・ ９月には**名古屋でも帰宅困難者が発生**

首都圏における帰宅困難者への対応

激甚化・頻発化する豪雨等の自然災害に伴い発生する**帰宅困難者への対応**は、**首都圏において喫緊の課題**

- 災害時に帰宅を急ぐ人や車両が、土砂災害や氾濫の危険地域へ移動すれば、本人の被災リスクを高めるだけでなく、救助・救急活動を妨げるおそれ
- 首都圏では、都県境を越えて通勤・通学する者が多く、一つの自治体の呼びかけや情報提供だけでは十分な対応が困難

九都県市で連携し、被災地域への人や車両の流入を未然に防ぎ、被害の軽減を図る必要



今後の取組（共同取組の提案）

提案内容

豪雨災害時等の帰宅困難者対策の広域連携について検討会を設置

検 討 案

✓ **豪雨災害時等の帰宅困難者対策の連携推進**

- 一時滞在施設の開設状況など避難に役立つ情報の共有
- 安全な地域に留まるよう九都県市連携による呼びかけ実施　等

✓ **九都県市で連携した平時の取組**

- 広域的な帰宅困難者訓練の実施
- 豪雨災害時の帰宅抑制を呼びかけるなどの合同キャンペーンの実施　等

首都圏の住民が安心して住み、働くことができるよう、九都県市一体となって豪雨災害時等における帰宅困難者対策を推進